

みなちせサッポロ

「みなちせ」とは、アイヌ語で「みな=笑顔」「ちせ=住宅」という意味。このアイヌ語から、笑顔の絶えない施設にするためのお手伝いになればという思いを込め、「みなちせサッポロ」と命名しました。

はじめに

この度、東北地方太平洋沖地震により、被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げ震災によって亡くなられた方のご冥福をお祈りすると共に、被災された方々の一刻も早い回復をお祈り申し上げます。

そして、一日も早い復興・復旧がなされ、皆様に笑顔の日々が戻りますことを願います。

春の外出ツアー

3月11日午後、東北・関東を中心に日本列島を突如、巨大地震が襲いました。ここ「ケア付き住宅徳洲会」でも、地震の瞬間は緊張感が走り、不安から思わず顔をこわばらせる方が多数いらっしゃいました。幸いにも施設において、被害はほとんど見受けられませんでしたが、今なお、震災に苦しむ被災者の方々の姿を、テレビ等で拝見するたびに、職員・入居者の皆様共々に心を痛めております。

そういう思いを胸に、3月中旬、私たちは「札幌市民防災センター」の見学に行ってまいりました。

こちらの施設は災害の怖さ、防災の大切さを市民に認識してもらうのを目的に建てられ、施設内には多くの展示・体験コーナーが設けられています。今回の見学が、少しでも被災者の方々の苦しみを共有し、そして今後このような災害を防ぐにはどうすれば良いのかということを皆さんができる大きなかきっかけとなつてもらえればと思います。

それでは、防災センターでの入居者の皆様の様子を、ご紹介してまいります。



これから、見学を行ってきます！



消防体験コーナー
火災の映像に向かって、実際に消火器を使って鎮火を体験してもらいます



地震体験コーナー
地震で建物内が激しく揺れる中、皆さんしっかりと頭を守っています



怖い人の集まりではありません。
防災に関する3D映画の鑑賞をして
いるところです。



大地震で被害を受けた、札幌の街並み
のセットをバックに。



防災への思いを心に秘めて……。
消防はしご車の前で一枚。

ケア付き住宅徳洲会の理念

個人の生活を尊重し、安心と健康を守る施設



理念の実行方法

- ①いつも笑顔で明るく挨拶をする
- ②その人のライフスタイルを尊重しサポートする
- ③明るく家庭的なやすらぎを提供する
- ④楽しいレクリエーションを提供する
- ⑤近所の皆様との交流を深める
- ⑥心に伝わる介護技術の向上にたえず努力する

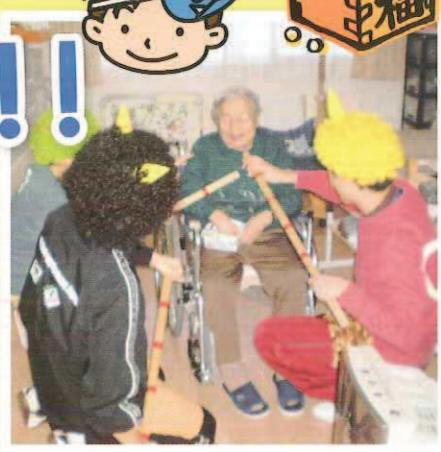
みなちせサッポロ



鬼は外！福は内！！

今年も忘れずに？ やってきました……鬼！ 鬼!! そして鬼!!! 每年恒例!? 入居者様のお部屋を回り、豆をぶつけてもらいにやってきました。皆様も慣れたもので、笑顔でやさしく鬼達を追い返していました。

これで、今年も福がいっぱいやってきますね!!



入居者の皆様の部屋に行き、次々と襲いかかっていきます。



勇敢に立ち向かい、鬼を退治していきます。最後は仲良く？ 摄って写真を撮影です。



ひな祭り会を行いました！



去る3月2日、ひな祭りのイベントを開催しました。

今年もボランティアでNPO法人「アイヴィーネット」の皆様にお越しいただき、日本舞踊や歌謡曲の数々を披露していただきました！ 入居者の皆様からも拍手喝さいの一日でした。特に驚きだったのが、99歳の方の日本舞踊！ すごいの一言でした。

詳しくはケア付き住宅徳洲会のブログをご覧ください。



『ケア付き住宅徳洲会』スタッフブログはこちら！ ⇒ <http://www.care-toku-s.jp/blog/>